

ひろしま暮らしの空気感、リアリティにこだわった 移住促進コンセプトムービーを制作しました！

～主人公は、広島に移住した6人～

東京圏をはじめ、移住を検討している方に、昨年度、開設した移住専用ホームページ「HIROBIRO.」に込めたコンセプト（都市と自然の近接性をもたらすライフスタイルの選択肢の多さ、ひろびろとした人生の可能性、ステップアップとしての移住）をより強く発信するための動画を制作しました。

実際に本県へ移住された方に出演いただき、日々の表情や、活動シーンを切り取り、「広島移住に一步踏み出そう！」というメッセージを込めたナレーションを添えて発信しています。メインキャストには、尾道市百島のアートベース百島の大橋実咲（おおはしみさき）さんを起用しています。

広島県では、移住専用ホームページの開設や東京有楽町への定住相談窓口の設置等、広島暮らしのPRを強化しています。先月、NPO法人ふるさと回帰支援センターが発表した「移住希望地域ランキング2015」において、初のベストテン入りとなる第6位にジャンプアップし、移住者も年々増加傾向にあります。

今後も、この動画を定住フェア、セミナーなどの移住関連イベント及びウェブサイトで発信することなど通じて、移住先としての広島県のイメージと認知度の向上に繋げていきます。



【移住促進に向けた広島県の取組】

■平成26(2014)年から定住相談窓口「ひろしま暮らしサポートセンター」を東京に設置

東京有楽町の「ふるさと回帰支援センター」内に相談窓口を開設。県職員が常駐し、仕事・住まい・地域環境などに関する情報も幅広く提供し、市町と連携しながら移住希望者にとって最適な「ひろしま暮らし」の実現に向けたサポートを行っています。来年度は相談員を1名増員し、体制を強化します。

(1日あたりの相談件数:H26年度4.8件 → H27年度6.1件)



■ウェブサイト『HIROBIRO.』の開設(H27.3.31)

これまでの市町の移住・定住関連情報等を提供する「交流定住ポータルサイト 広島暮らし」に加えて、単なる田舎暮らしではない、魅力的なライフスタイルを実現されている移住者の姿を発信し、「広島でひろがる人生の可能性」を訴えかける新たなウェブサイト『HIROBIRO.』を開設しました。

(アクセス数:約10万件(2月末時点))



■移住者と移住検討者の交流機会の増

就職・起業に関する相談や市町の移住担当者が地域での暮らしを紹介する定住フェアの開催に加えて、県内各地のひろしまスタイル実践者が東京に出向き、移住後の具体的な活動や活動のフィールドを紹介するセミナー等を定期的開催しています。



【PR 動画について】

《映像のポイント》

- ・昨年度、開設した移住専用ホームページ「HIROBIRO.」のコンセプト（都市と自然の近接性がもたらすライフスタイルの選択肢の多さ、ひろびろとした人生の可能性、ステップアップとしての移住）を表現
- ・HIROBIRO. が大事にしているのは“人”。広島らしいライフスタイルを実現している人のチャレンジする姿勢や広島の空気感を映像を通じて発信

1 ターゲット

- 東京圏を中心とした地方移住検討者
- 人生のステップアップに挑戦しようとしている比較的若い人

2 見込まれる効果

人々の表情や音などを活用して意識の奥深い部分に訴求し、ひろしま暮らしの空気感、リアリティを伝えることにより、本県での新たなチャレンジについて共感を獲得し、本県への移住の動きを加速させる（広島訪問や移住への興味のきっかけを作り出す）。

3 内容

（1）コンセプト

広島県内で活躍するチャレンジャー達の表情や、日々の活動シーンを切り取り、ありのままの広島をシンプルに強く発信。多くの“人”がチャレンジする広島の強さ、広島の未来を表現する。

（2）特徴

- HIROBIRO. のインタビューページに掲載している（掲載予定の）6人が出演
- 出演者の活動の場である、島しょ地域、里山、歴史的な街並み地区、都市中心部でロケ
- ドローンを活用しスピード感のある映像を制作

（3）再生時間

2分

4 活用シーン

- （1）定住フェア、セミナーなどの移住関連イベント及びT A U店内のサイネージで発信
 - （2）HIROBIRO サイト、総務省が開設した「全国移住ナビ」などのウェブサイトへ掲載
- ※映像を多くの移住希望者に届けるため、ウェブを中心としたメディアにアプローチする。